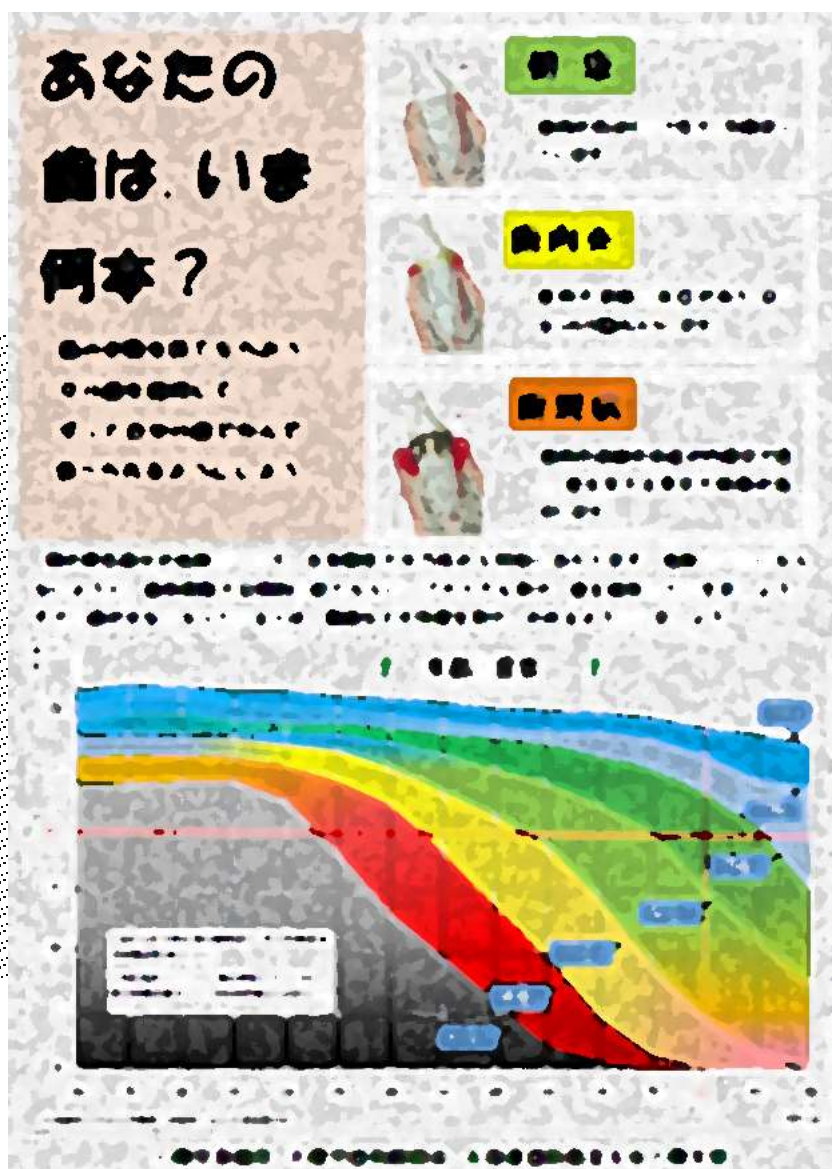


「あなたの歯は何本？」事業アンケート調査 報告書

＜平成 28 年度 小樽市民の歯科口腔保健を考える会事業＞



平成29年6月

小樽市保健所

概 要

平成25年1月に本市の健康づくり計画である「第2次健康おたる21」がスタートしました。本計画の口腔保健領域の目標設定として歯の寿命の延伸に係る4項目を挙げていますが、そのうちの以下の2項目は成人を対象とした目標です。

1. 40歳代で進行した歯周病を有する者の減少

30.9%(平成23年調査値)を25.0%以下(平成34年)に減少

2. 60歳代で24歯以上の自分の歯を有する者の増加

38.7%(平成23年調査値)を50.0%以上(平成34年)に増加

昨年(平成28年)に実施した中間評価アンケートの結果では、

1. 40歳代で進行した歯周病を有する者は25.9%に減少

2. 60歳代で24歯以上の自分の歯を有する者は47.7%に増加

と、目標に向かって改善しています。

そのような中、本市の歯周病予防対策をより広く効果的に実施するため、平成28年5月より「小樽市民の歯科口腔保健を考える会」を立ち上げました。

これは歯科医師会、歯科衛生士会及び保健所が相互理解を深め、ともに市民の歯科口腔保健の向上を目指すための会議です。

平成28年度会議においては「あなたの歯は何本？」事業及び第1回小樽市健口講座を企画し、実施して参りました。

「あなたの歯は何本？」事業は、現在残っている自分の歯の本数を知ることから、行動変容を促すきっかけとなる効果的なリーフレット作りから始まりました。

完成後、2回の歯科医院向け事業説明会を経て、市内の歯科医院のうち約60%の歯科医院に御協力いただき、多くの受診者の方にリーフレットを使って歯周病予防について説明していただきました。

説明を受けた受診者は、事業評価アンケートに回答していただきました。

また、事業終了後には、歯科医院の皆様にも事業評価アンケートに御回答いただきました。

本報告書は、歯周病の予防、重症化を防ぎ、市民がいつまでも自分の歯でおいしく食事をいただくことにより、健康寿命の延伸を目指して取組んだ「あなたの歯は何本？」事業のアンケート調査結果報告書です。

本報告書をまとめるに当たり、多くの方々の御理解と御協力をいただいたことに深く感謝します。

目次

1. 受診者アンケート

1) まとめ	1
2) アンケート結果 基本情報	1
3) 問1 あなたの歯の本数は自分で思っていた本数と比較してどうでしたか？	2
4) 問2 今回の説明を聞いて、又はリーフレットを見て、「歯を保てよう」という 気持ちは、変化しましたか？	3
5) 問3 歯を保つためにプロケアが必要なことを知っていましたか？	4
6) 問4 あなたは定期的に健診やプロケアを受けていますか？	5
7) 問1(補足質問) あなたの歯は何本でしたか？	6

2. 協力歯科医院アンケート

1) まとめ	7
2) アンケート結果 基本情報	7
3) 問1 回答者の職種	7
4) 問2 事業のポスターを掲示しましたか？また、掲示場所は？	8
5) 問3 事業のリーフレット説明の負担感は？ (負担感最高値を10点として、主観を点数化した。)	8
6) 問4 リーフレットの内容の評価は？(最高点を10点として、点数化した。)	9
7) 問5 今後、保健所事業にどの程度協力できるか？(重複回答あり)	9

3. 統計表

<受診者アンケート>

1) 問1〔性別クロス表〕〔年代別クロス表〕	10
2) 問2〔性別クロス表〕〔年代別クロス表〕	10
3) 問3〔性別クロス表〕〔年代別クロス表〕	11
4) 問4〔性別クロス表〕〔年代別クロス表〕	12

<協力歯科医院アンケート>

1) 問1〔職種集計表〕	13
2) 問2〔ポスター掲示場所集計表〕	13
3) 問3〔説明負担感集計表〕〔職種別クロス表〕	13
4) 問4〔リーフレットの内容評価集計表〕	13
5) 問5〔今後の協力程度集計表〕	13
6) 問4〔自由記載〕	14
7) 問6〔自由記載〕	15

4. 資料

- 1) 歯科医院あて事業依頼文書
- 2) 掲示用ポスター(実物は A3大)
- 3) 説明用リーフレット
- 4) 事業フローチャート
- 5) 受診者アンケート用紙
- 6) 協力歯科医院アンケート用紙

1.「あなたの歯は何本？」事業 受診者アンケート

まとめ

「あなたの歯は何本？」事業の対象となる受診者に対してアンケートを行いました。ここで言う受診者とは、事業協力歯科医院を受診し、リーフレットの説明を受けた方で、アンケートにも回答して下さった方を指します。リーフレットの説明に時間が掛かることに加えて、アンケート記入にも協力して下さる方は、歯科医院との信頼関係が構築されている方が多いというバイアスがありますが、多くの方に協力していただくことができました。

今回の事業において収集したアンケート結果を以下に表やグラフを用いて整理しました。

結果を受けて最も強く感じたことは、今回の事業を通して多くの市民に対し歯科関係者が直接、肉声で歯科保健情報を提供できたということです。直接お話しすることで、内容を理解しやすかったのではないかと思います。

今回の対象者は、歯科医院と信頼関係を築いている患者さんというバイアスがある集団であることから、ほとんどの方が歯を大切にしようという気持ちもあり、行動にも移している方々です。これらの方々が、積極的に定期健診やプロケアをしていただくことによって、家族や友人知人など周囲の方々への良い影響となることを願っています。

また、歯科保健への興味が無かったり、時間的な余裕が無かったりする方は、自主的な受診行動を取りにくいと思われることから、保険者などが行う健診に、歯科健診が取り入れられることが望まれます。

アンケート結果

基本情報 実施時期 平成28年10月より平成29年3月まで

協力歯科医院数 79施設中48施設(60.8%)

回収数 1,888件

うち 歯数の記入があるものは 486件

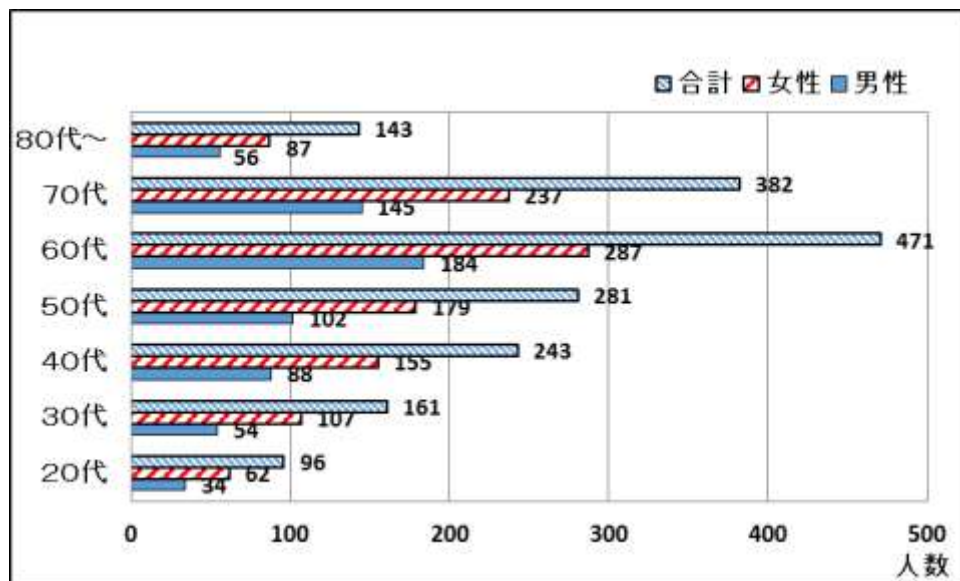
有効回答数 年齢と性別に不備のない 1,777件

うち 歯数の記入があるものは 448件

分析対象数 有効回答について、性別、年代別に集計し下表に示した。

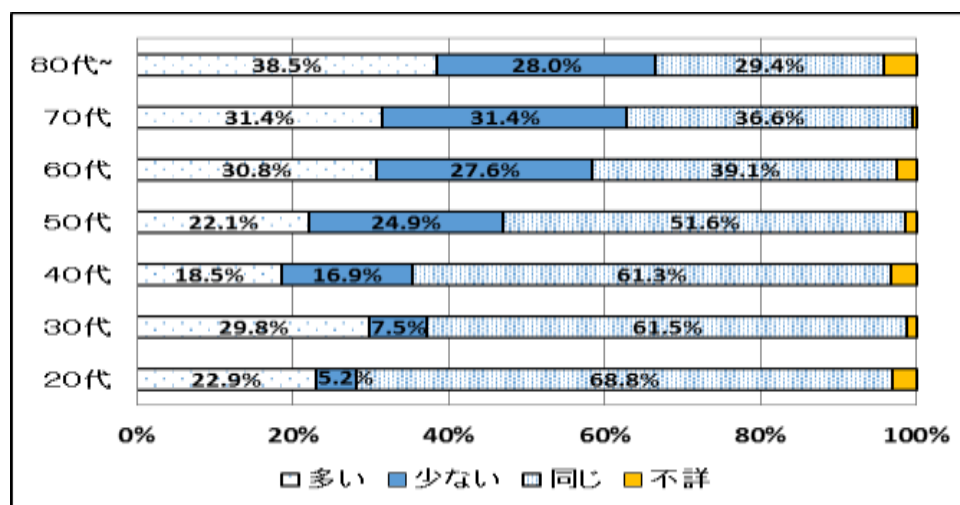
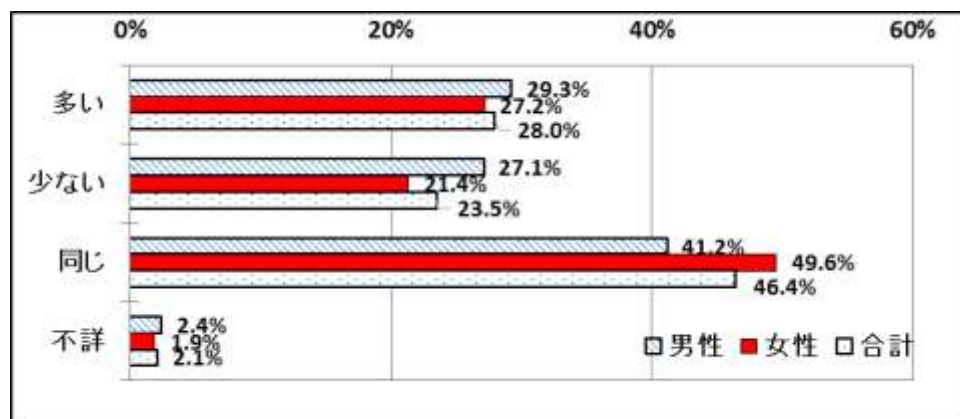
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	合計
男性	34	54	88	102	184	145	56	663
%	5.1%	8.1%	13.3%	15.4%	27.8%	21.9%	8.4%	100%
女性	62	107	155	179	287	237	87	1114
%	5.6%	9.6%	13.9%	16.1%	25.8%	21.3%	7.8%	100%
合計	96	161	243	281	471	382	143	1777
%	5.4%	9.1%	13.7%	15.8%	26.5%	21.5%	8.0%	100%

受診者は、男女ともに60歳代が最も多く、60～70歳代を合わせると、約半数となる。次に働き盛りの40～50歳代の方が多くなっている。

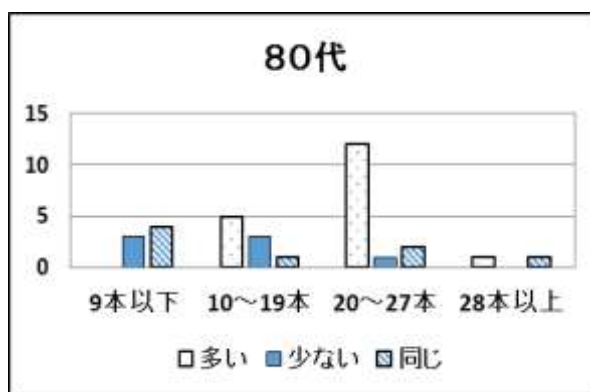
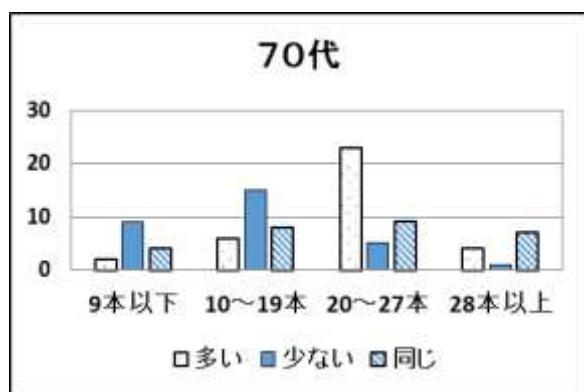
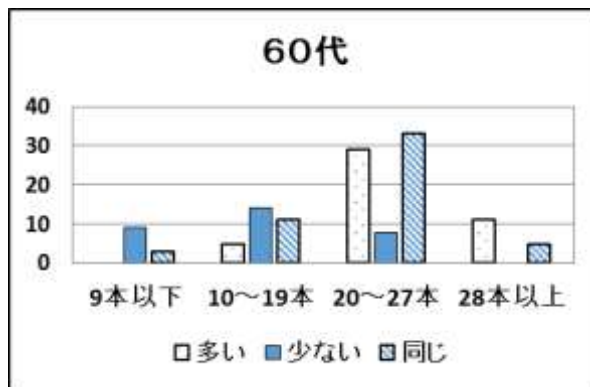
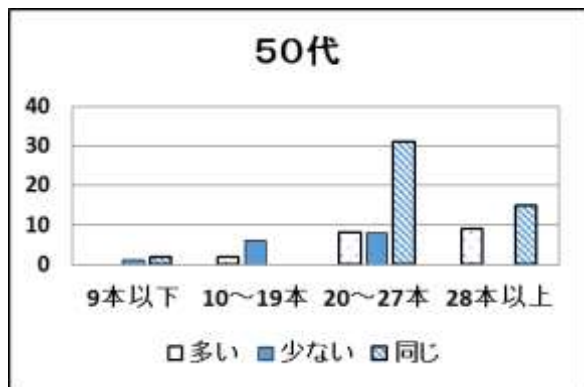


問1 あなたの歯の本数は自分で思っていた本数と比較してどうでしたか？

受診者は自分の歯数について「思っていたのと同じ」と正確に把握している人が最も多い。「思っていたより多い」と「思っていたより少ない」は、ほぼ同数となった。

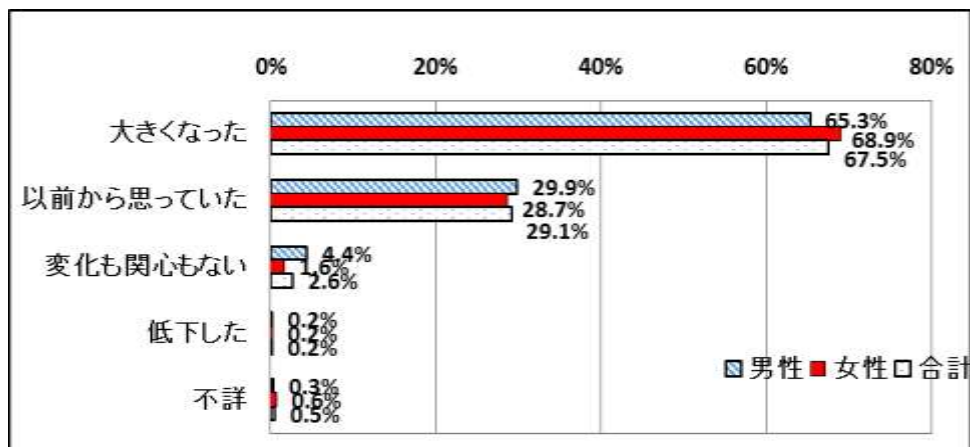


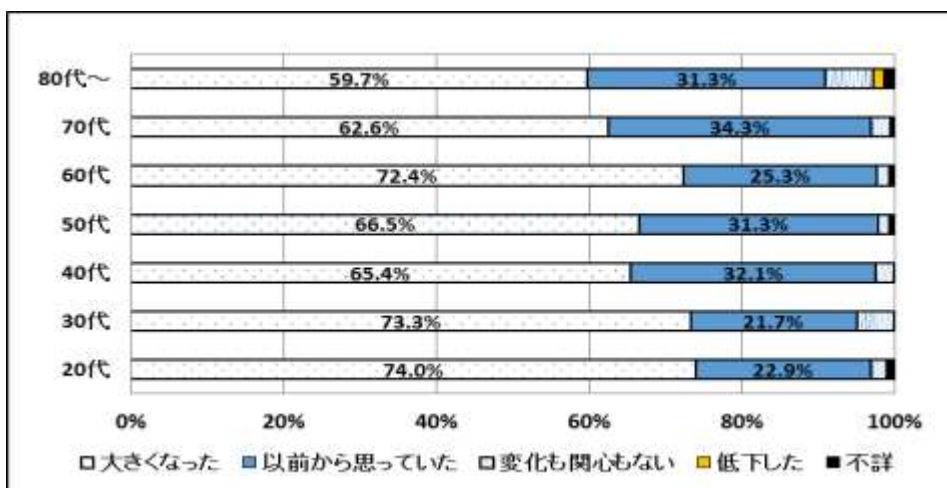
歯数記入欄があるアンケートから、自分が思っていた歯数と実際の歯数との隔たりについて、年代毎に、実際の歯数別にまとめると、以下の図となる。50代、60代の方は「思っていたのと同じ」と回答する方が最も多い。70代、80代では、「自分が思っていたより少ない」又は「自分が思っていたより多い」という回答が多く、特に20～27本の歯がある方は、「思っていたより多い」と回答している。



問2 今回の説明を聞いて、又はリーフレットを見て、「歯を保てよう」という気持ちは、変化しましたか？

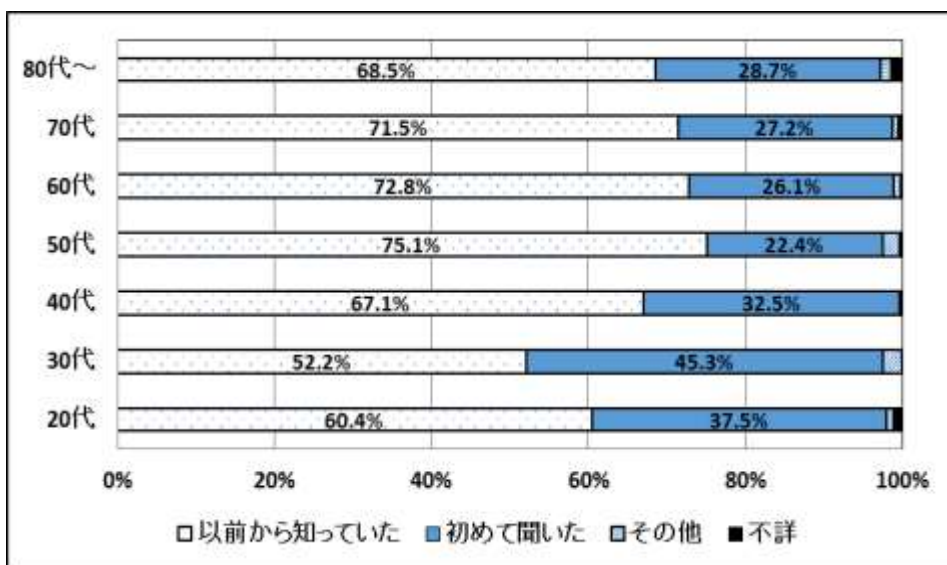
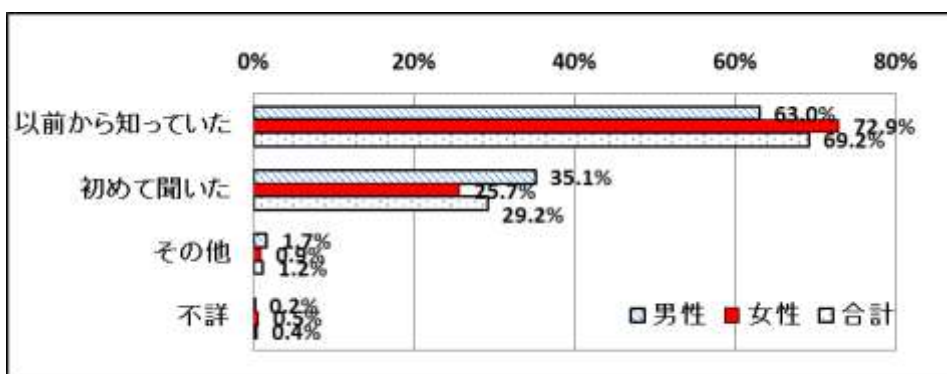
リーフレットの説明により「歯を保つ気持ちが大きくなった」という回答が最も多く、「以前からそう思っていた」と合わせると、90%以上の方が歯を大切にする気持ちを持っている。





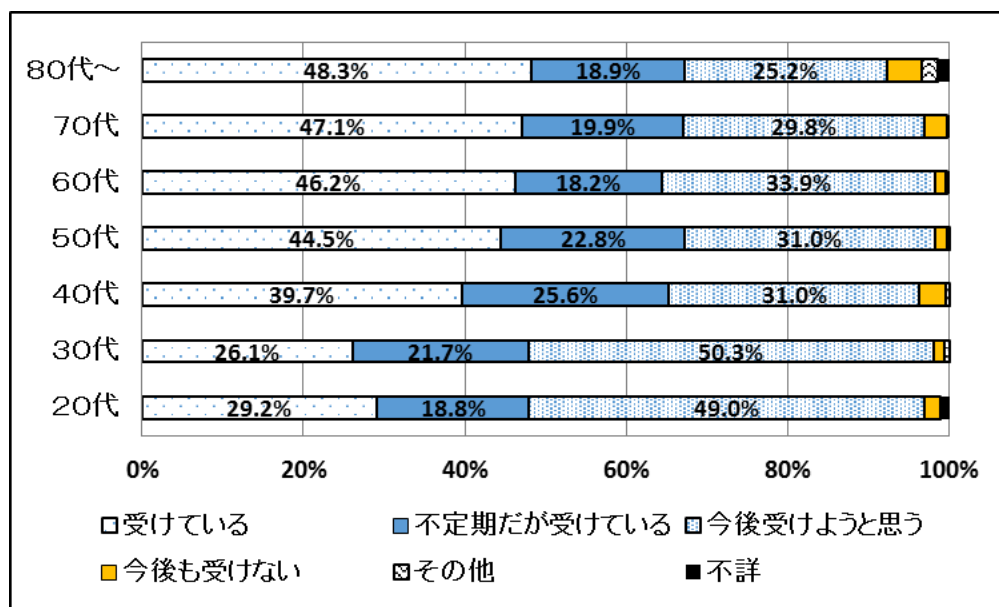
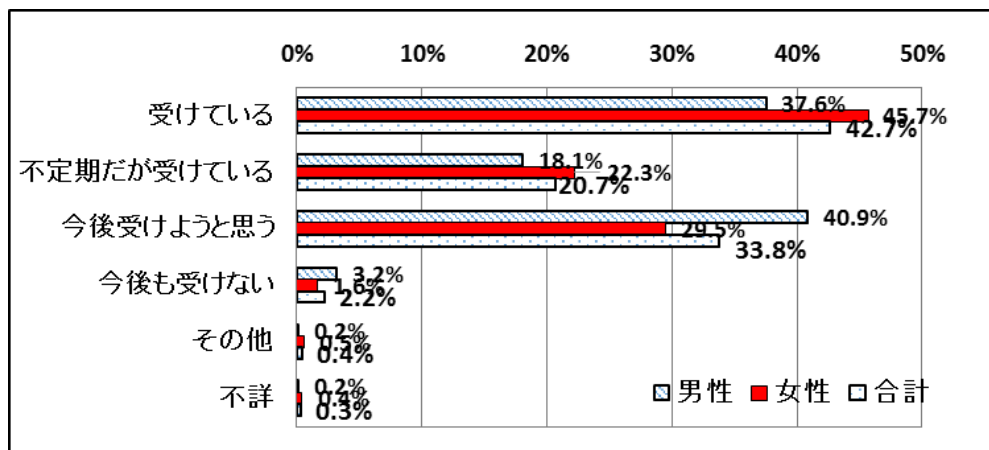
問3 歯を保つためにプロケアが必要のことを知っていましたか？

プロケア(プロフェッショナルケア)の必要性を以前から知っていたとする回答が最も多い。年代別に見ると、20代、30代で、初めて聞いたとする人がやや多い。



問4 あなたは定期的に健診やプロケアを受けていますか？

プロケアが歯を守るために必要であることを理解している人は、問3の回答から見ると69.2%、実際に受けている人は問4の「受けている」と「不定期だが受けている」を合わせて63.4%となり、ほぼ同じくらいである。「今後受けようと思う」と回答している33.8%がいることから、今後の取組みにより、定期健診やプロケアを受ける方は増加する可能性がある。



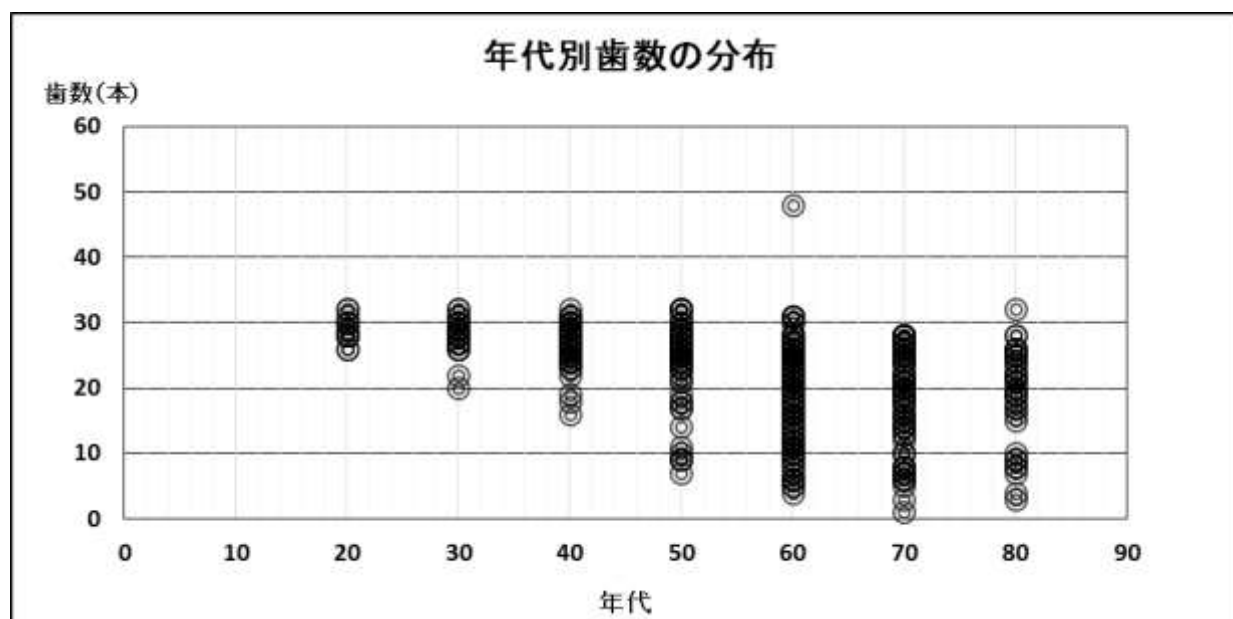
問1(補足質問) あなたの歯は何本でしたか？

一部のアンケートでは、現在歯数を聞いており、その部分を表と図にまとめた。

図で年代別に歯数の分布を見ると、若い年代は喪失歯が少なく、歯数は、ほぼ同数であるため、狭い範囲に集中するが、年齢を重ねると個人差が大きく分布がばらついている。

(人)

	20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代～		合計		男女総計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	人数	%
0本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	3	3	0.6
9本以下	0	0	0	0	0	0	2	2	4	8	6	9	2	4	14	23	37	8.3
10～19本	0	0	0	0	1	1	2	6	11	21	11	13	3	6	28	47	75	16.7
20～27本	0	2	3	6	11	23	12	30	27	45	14	21	6	10	73	137	210	46.9
28本以上	8	11	6	17	12	17	14	8	9	7	3	8	0	3	52	71	123	27.5
計	8	13	9	23	24	41	30	46	51	82	34	51	11	25	167	281	448	100



2. 「あなたの歯は何本？」事業 協力歯科医院アンケート

まとめ

この事業に協力をいただいた48歯科医院の歯科医師と歯科衛生士に対して、事業終了時にアンケートを行いました。これは、事業開始に当たっては、「小樽市民の歯科口腔保健を考える会」で歯科医師会、歯科衛生士会の代表とともに話し合ってきましたが、個々の会員の声を聞きたいと考えたからです。

アンケート結果は、下に示しましたが、診療の他に歯科保健情報を伝えることはかなり負担になるなかで、大きな協力をいただいたことを改めて認識し大変ありがたく思っています。

市民への情報提供については、保健所でも行っていますが、専門性の高い情報を1対1で伝えることは、保健所だけではとてもできることはありません。説明を受けた方は、市内の歯科医療機関を受診した方の一部に限定されてはいますが、歯科保健についての情報を、専門家から直接聞くことで、理解が深まったのではないかと思います。

歯周疾患の予防には、成人全般へのアプローチが必要ですが、予防効果が高いと思われる年代の40～50歳代の方へも説明できたことは大変意義があると思います。

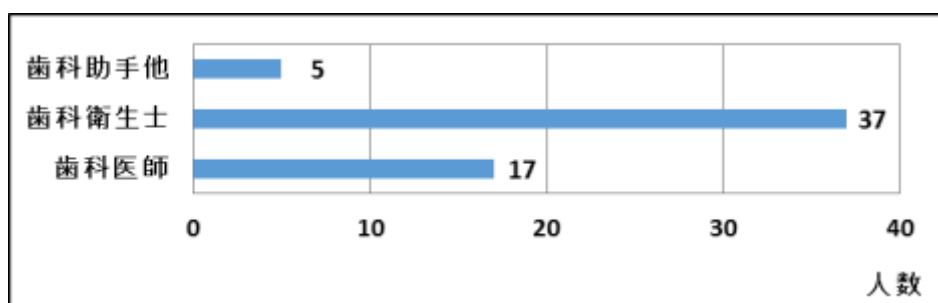
この事業を通して御協力をいただいただけでなく、今後も協力をしてくださるという回答をいただいたことにも感謝しています。今後も歯科保健事業を推進するに当たり、市内歯科医療機関と連携を図りながら取り組んでいきたいと思っています。

アンケート結果

基本情報	実施時期	平成29年3月より4月まで
	配布歯科医院数	48箇所
	回収数	59人(歯科医院数は不明)
	有効回答数	59人

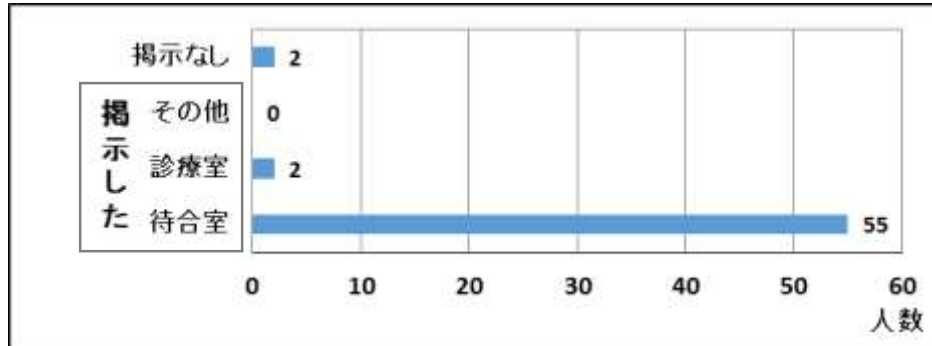
問1 回答者の職種は？

この事業に携わった方に回答していただいているので、歯科医師、歯科衛生士が大半となる。



問2 事業のポスターを掲示しましたか？また、掲示場所は？

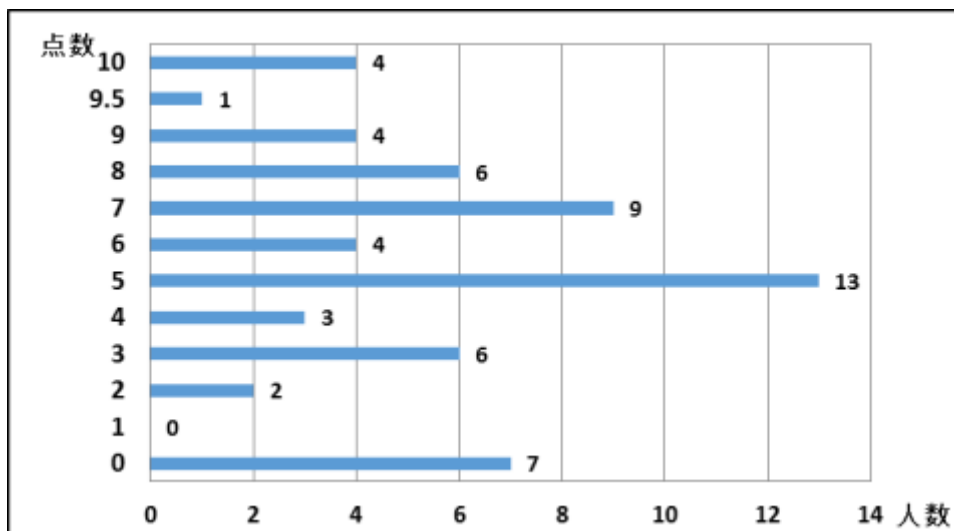
歯科医院の待合室掲示板は、情報提供の場所としては良いが、スペースの問題などもあることから、ポスターの利用を問うているが、ほとんどの歯科医院で、ポスターを掲示していた。



問3 事業のリーフレット説明の負担感は？

負担感最高値を10点として点数化した。

診療中にリーフレットについて説明することは、負担感を伴うが、負担感を主観的に点数化すると、全体としての平均点は5.42点と、ほぼ中間で、職種別では歯科医師が最も負担感が低く、その他の職種が高くなっている。

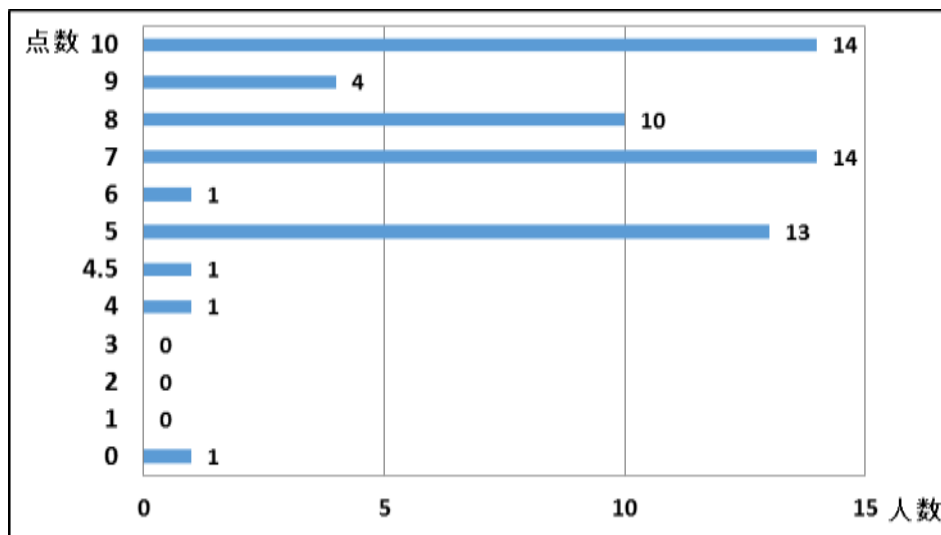


	負担感合計	件数	平均	全体平均
歯科医師	84	17	4.94	5.42
歯科衛生士	200	37	5.41	
その他	35.5	5	7.10	

問4 リーフレットの内容の評価は？

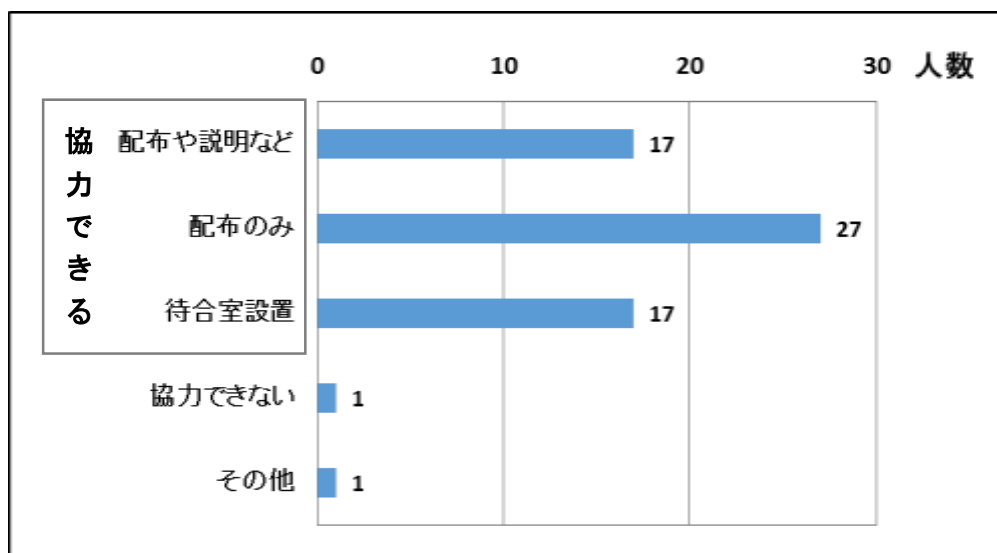
最高点を10点として点数化した。

リーフレットについて点数をつけると、ほぼよいという評価となっている。全体の平均点は、7.3点である。自由記載で頂いた意見については、別途まとめた。



問5 今後、保健所事業にどの程度協力できるか？（重複回答あり）

今後どの程度協力いただけるかを聞いたものでは、「リーフレット配布程度なら協力できる」が最も多くなっている。今後も歯科医院と協働で行う事業の可能性を示している。



3. 統計表

<受診者アンケート>

1) 問1 あなたの歯の本数は自分で思っていた本数と比較してどうでしたか？

性別と問1のクロス表

		問1				合計
		多い	少ない	同じ	不詳	
性別	男性	194	180	273	16	663
	%	29.3%	27.1%	41.2%	2.4%	
	女性	303	238	552	21	1114
	%	27.2%	21.4%	49.6%	1.9%	
合計		497	418	825	37	1777
%		28.0%	23.5%	46.4%	2.1%	

年齢区分と問1のクロス表

		問1				合計
		多い	少ない	同じ	不詳	
年代	20代	22	5	66	3	96
	%	22.9%	5.2%	68.8%	3.1%	
	30代	48	12	99	2	161
	%	29.8%	7.5%	61.5%	1.2%	
	40代	45	41	149	8	243
	%	18.5%	16.9%	61.3%	3.3%	
	50代	62	70	145	4	281
	%	22.1%	24.9%	51.6%	1.4%	
	60代	145	130	184	12	471
	%	30.8%	27.6%	39.1%	2.5%	
	70代	120	120	140	2	382
	%	31.4%	31.4%	36.6%	0.5%	
	80代～	55	40	42	6	143
	%	38.5%	28.0%	29.4%	4.2%	
合計		497	418	825	37	1777
%		28.0%	23.5%	46.4%	2.1%	

2) 問2 今回の説明を聞いて、又はリーフレットを見て、「歯を保てよう」という気持ちは変化しましたか？

性別と問2のクロス表

		問2					合計
		大きくなった	以前から思っていた	変化も関心もない	低下した	不詳	
性別	男性	433	198	29	1	2	663
	%	65.3%	29.9%	4.4%	0.2%	0.3%	
	女性	768	320	18	2	7	1115
	%	68.9%	28.7%	1.6%	0.2%	0.6%	
合計		1201	518	47	3	9	1778
%		67.5%	29.1%	2.6%	0.2%	0.5%	

年齢区分と問2のクロス表

		問2					合計
		大きくなった	以前から思っていた	変化も関心もない	低下した	不詳	
年代	20代	71	22	2	0	1	96
	%	74.0%	22.9%	2.1%	0.0%	1.0%	
	30代	118	35	8	0	0	161
	%	73.3%	21.7%	5.0%	0.0%	0.0%	
	40代	159	78	6	0	0	243
	%	65.4%	32.1%	2.5%	0.0%	0.0%	
	50代	187	88	4	0	2	281
	%	66.5%	31.3%	1.4%	0.0%	0.7%	
	60代	341	119	8	1	2	471
	%	72.4%	25.3%	1.7%	0.2%	0.4%	
	70代	239	131	10	0	2	382
	%	62.6%	34.3%	2.6%	0.0%	0.5%	
	80代～	86	45	9	2	2	144
	%	59.7%	31.3%	6.3%	1.4%	1.4%	
	合計	1201	518	47	3	9	1778
	%	67.5%	29.1%	2.6%	0.2%	0.5%	

3) 問3 歯を保つためにプロケアが必要なことを知っていましたか？

性別と問3のクロス表

		問3				合計
		以前から知っていた	初めて聞いた	その他	不詳	
性別	男性	418	233	11	1	663
	%	63.0%	35.1%	1.7%	0.2%	
	女性	812	286	10	6	1114
	%	72.9%	25.7%	0.9%	0.5%	
合計		1230	519	21	7	1777
%		69.2%	29.2%	1.2%	0.4%	

年齢区分と問3のクロス表

		問3				合計
		以前から知っていた	初めて聞いた	その他	不詳	
年代	20代	58	36	1	1	96
	%	60.4%	37.5%	1.0%	1.0%	
	30代	84	73	4	0	161
	%	52.2%	45.3%	2.5%	0.0%	
	40代	163	79	1	0	243
	%	67.1%	32.5%	0.4%	0.0%	
	50代	211	63	6	1	281
	%	75.1%	22.4%	2.1%	0.4%	
	60代	343	123	4	1	471
	%	72.8%	26.1%	0.8%	0.2%	
	70代	273	104	3	2	382
	%	71.5%	27.2%	0.8%	0.5%	
	80代～	98	41	2	2	143
	%	68.5%	28.7%	1.4%	1.4%	
	合計	1230	519	21	7	1777
	%	69.2%	29.2%	1.2%	0.4%	

年齢区分と問3のクロス表

		問3				合計
		以前から知っていた	初めて聞いた	その他	不詳	
年代	20代	58	36	1	1	96
	%	60.4%	37.5%	1.0%	1.0%	
	30代	84	73	4	0	161
	%	52.2%	45.3%	2.5%	0.0%	
	40代	163	79	1	0	243
	%	67.1%	32.5%	0.4%	0.0%	
	50代	211	63	6	1	281
	%	75.1%	22.4%	2.1%	0.4%	
	60代	343	123	4	1	471
	%	72.8%	26.1%	0.8%	0.2%	
	70代	273	104	3	2	382
	%	71.5%	27.2%	0.8%	0.5%	
	80代～	98	41	2	2	143
	%	68.5%	28.7%	1.4%	1.4%	
合計		1230	519	21	7	1777
%		69.2%	29.2%	1.2%	0.4%	

4) 問4 あなたは定期的に健診やプロケアを受けていますか？

性別と問4のクロス表

		問4						合計
		受けている	不定期だが受けている	今後受けようと思う	今後も受けない	その他	不詳	
性別	男性	249	120	271	21	1	1	663
	%	37.6%	18.1%	40.9%	3.2%	0.2%	0.2%	
	女性	509	248	329	18	6	4	1114
	%	45.7%	22.3%	29.5%	1.6%	0.5%	0.4%	
合計		758	368	600	39	7	5	1777
%		42.7%	20.7%	33.8%	2.2%	0.4%	0.3%	

年齢区分と問4のクロス表

		問4						合計
		受けている	不定期だが受けている	今後受けようと思う	今後も受けない	その他	不詳	
年代	20代	28	18	47	2	0	1	96
	%	29.2%	18.8%	49.0%	2.1%	0.0%	1.0%	
	30代	42	35	81	2	1	0	161
	%	26.1%	21.7%	50.3%	1.2%	0.6%	0.0%	
	40代	96	62	75	8	1	0	242
	%	39.7%	25.6%	31.0%	3.3%	0.4%	0.0%	
	50代	125	64	87	4	1	0	281
	%	44.5%	22.8%	31.0%	1.4%	0.4%	0.0%	
	60代	218	86	160	6	1	1	472
	%	46.2%	18.2%	33.9%	1.3%	0.2%	0.2%	
	70代	180	76	114	11	0	1	382
	%	47.1%	19.9%	29.8%	2.9%	0.0%	0.3%	
	80代～	69	27	36	6	3	2	143
	%	48.3%	18.9%	25.2%	4.2%	2.1%	1.4%	
合計		758	368	600	39	7	5	1777
%		42.7%	20.7%	33.8%	2.2%	0.4%	0.3%	

<協力歯科医院アンケート>

1) 問1 回答者の職種は？

	歯科医師	歯科衛生士	歯科助手他	合計
人数	17	37	5	59
%	28.8%	62.7%	8.5%	100%

2) 問2事業のポスターを掲示しましたか？また、掲示場所は？

	掲示した			掲示なし	合計
	待合室	診療室	その他		
人数	55	2	0	2	59
%	93.2%	3.4%	0.0%	3.4%	100%

3) 問3 事業のリーフレット説明の負担感は？

負担感最高値を10点とする

	0～3点	4～7点	8～10点	平均点
人数	15	29	15	5.4点
%	25.4%	49.2%	25.4%	

	0～3点	4～7点	8～10点	計(人)
歯科医師	5	9	3	17
%	29.4%	52.9%	17.6%	100%
歯科衛生士	10	17	10	37
%	27.0%	45.9%	27.0%	100%
その他	0	3	2	5
%	0%	60.0%	40.0%	100%

4) 問4 リーフレットの内容の評価は？

最も良いを10点とする

	0～3点	4～7点	8～10点	平均点
人数	1	30	28	7.3点
%	1.7%	50.8%	47.5%	

5) 問5 今後、保健所事業にどの程度協力できるか？（重複回答あり）

	協力できる			協力できない	その他	合計
	配布や説明など	配布のみ	待合室設置			
人数	17	27	17	1	1	63

6) 問4 リーフレットに盛り込むとよいと思う内容、又は改善点についてお書きください。

質問4 リーフレットに盛り込むとよいと思う内容、又は改善点についてお書きください。	
	グラフが分かりづらかった。
	グラフの線が薄くて少し見にくかったです。
	患者さん自身が歯を残すという意識が更に高まっていたので、とても良いと思います。
	グラフの色どりをもう少し工夫してほしい。
	残存歯数を表示する色分けされた図の意味が患者さんにとって直感的に分かりづらいと思いました。
	口腔内写真での病状改善例(Before-After)も盛り込めれば、より良いものになると思います。
	歯の本数について%で示されていることなど、理解するのが難しく、患者さんへの説明がうまくできなかった様に思います。
	来院されている患者さんは、お治療を受けるというモチベーションをお持ちなので、「良い歯のイベント」や市民に向けてなら、啓発活動になると思いました。
	分かりづらい内容だったので、もう少し分かりやすく改善してほしいです。
	むし歯になる原因、どのようなブラッシングが効果的かなど。歯周病には触れているので、カリエスの方もさっと触れたらいいのでは？
	グラフが分かりにくい。患者さんに説明するが、あまり分かってない。
	年齢と歯数のグラフが、少し難しいように感じました。
	グラフの見方を説明しなくても理解できるようにしてほしいです。
	表の見方が高齢の方には少し難しかったようです。
	順位をつけると歯が少ない人に説明しづらい。何歳で何本くらい(平均)みたいな表現のほうが良いと思う。
	100人中何番目に相当すると言うのは理解しやすいと思います。歯周病＝慢性疾患であることをもっとPRできればと思います。
	もう少し字が大きいと年配のかたにも良いと思います。

7) 問 6 事業を通しての感想や改善点などお書きください。

質問6 事業を通しての感想や改善点などお書きください。	
	患者さんが口腔ケアに対して、より興味を持ってきて、セルフケアへの意識がより高まったような気がします。
	全体的にとっても良いが、グラフの線が薄かったので、高齢者のことを考えて、もっと濃く見やすくしてほしいです。
	患者さんへの説明用としても使わせていただきました。特に裏面の認知症、転倒リスクの説明は患者さんもびっくりして良い啓発になった。
	継続して「口腔の管理」をしてもらおうという動機付けには結びつかないと思いました。
	小樽市において初めて行政サイドから歯周病に関するアプローチがあったことは大いに評価いたします。今後は市民へのアプローチと歯科医師会との定期的な協議をお願いし、市民を歯周病から守る手助けをお願いします。
	今まで関心がなかった方にも歯の大切さを分かってもらえたと思います。
	とても良かったと思います。
	意識の高い患者様が多いので、効果のほどは分かりませんが、やることには意味はあるかと思うので・・
	忙しい中での説明は時間が取れないことが多かった。相手に内容を理解してもらうのに時間が掛かった場合があった。
	患者自身の歯に対する関心が向上したと思う。
	自分の歯が何本あるのか患者さん自身も分かっていない方が多数だったので、自分の今の本数と状態、8020への関心が増してよかったと思います。
	患者さんへのモチベーション、統計の結果を医療従事者側が考える機会として、とても有意義と思えました。しかし常に時間に追われている中で、数がこなせなくて大変申し訳なく思っています。
	実際に歯が何本残っているか、自分では知らなかったという患者さんもいて、意識付ける良いきっかけになったと思います。
	何歳で何本歯が残っていれば、同じ年齢の世代の中でどのくらいの位置にいるのかデータとして患者さんに示せてよかったと思います。
	患者様ご自身がご自分の歯の本数を把握されていない事も多く、歯周病についての知識がない方へのご説明としてリーフレットは最適であったかと思います。
	次回もアンケートを取るのであれば、同じ内容では、今回受けた患者さんには協力してもらえないかもしれません。
	年齢との比較をもう少し分かりやすくてきたらと思います。
	ペリオ(歯周病)に対する市民の理解が深まったと思う。

4. 資 料

平成28年9月末日

歯科診療機関院長 各位

小樽市保健所

「あなたの歯は何本？」事業アンケート実施について（御依頼）

この度は、「あなたの歯は何本？」事業に御協力くださりましてありがとうございます。

事業評価のため、アンケートを実施いたしますので、【アンケート実施手順】を参照の上、御協力をお願いいたします。

また【配布物】に記載の1～4を配布させていただきます。御不明な点などにつきましては、担当者までお問合せください。よろしくお願いいたします。

【アンケート実施手順】

1. 対象者は、20歳以上の患者様で、
 - ①歯を維持することの意義
 - ②歯を維持するため、定期健診やプロフェッショナルケア等の必要性上記①、②について、同封のリーフレット等の資料を用いて、説明を受けた方
2. アンケートは基本的に、患者様に記入していただきます。
3. 記入済みアンケートは、アンケート回収袋へ入れ、保管してください。
4. 本年12月と来年3月頃に、アンケートの回収に伺います。

【配布物】

- | | |
|--------------|-----|
| 1. 掲示用ポスター | 1枚 |
| 2. 説明用リーフレット | 50枚 |
| 3. アンケート用紙 | 50枚 |
| 4. アンケート回収袋 | 1枚 |

担当

小樽市保健所健康増進課

中村・藤川

TEL 22-3110

FAX 22-1469

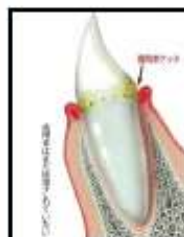
あなたの 歯は、いま 何本？

歯の本数を診てもらおう。
今の歯を維持して
ずっと自分の歯でかんで
食べられるようにしよう。



健康

歯肉の色はピンク色で、引締まっています。



歯肉炎

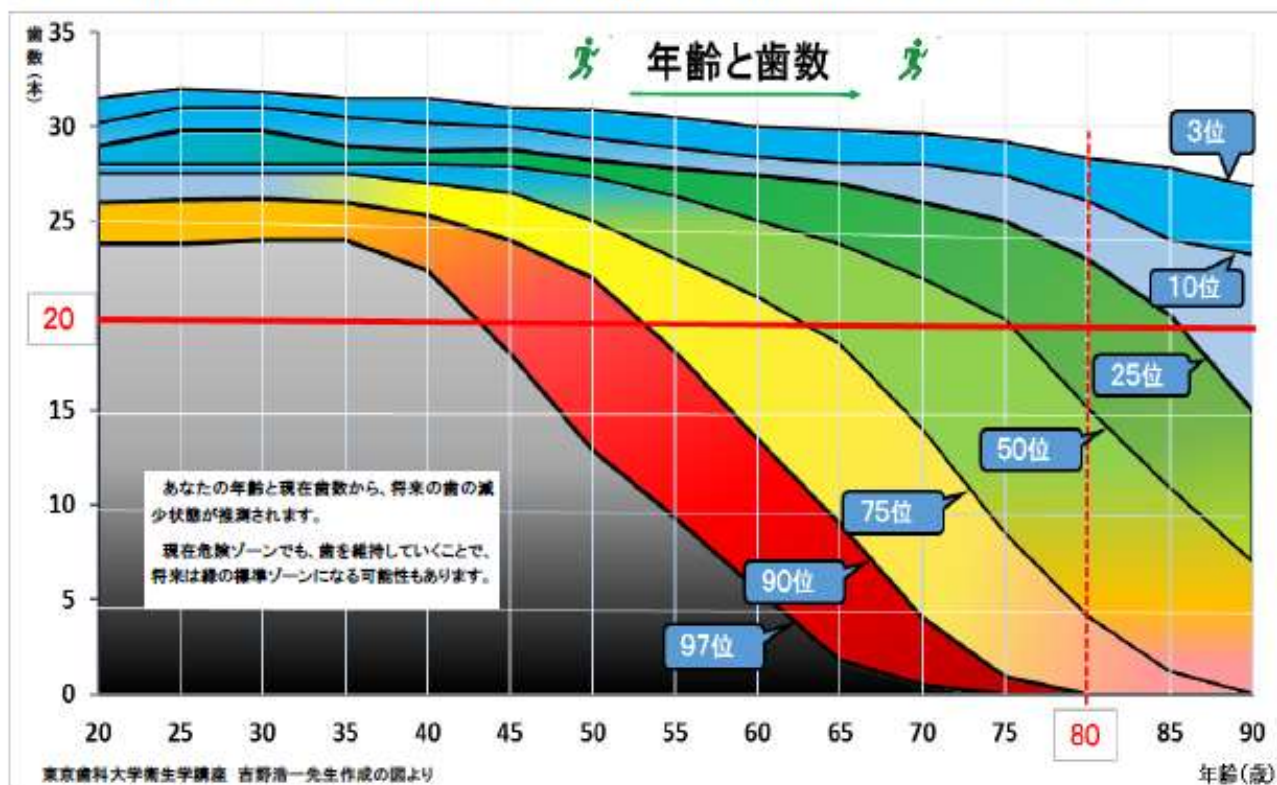
歯肉の辺縁に炎症があり、赤くなったり腫れたりします。



歯周病

歯肉の辺縁の炎症が内部まで達し、歯を支える骨まで破壊が進行します。

図の黄色部分が危険ゾーンで、全体順位では75位から90位に当たります。危険ゾーンにならないように、歯科医院で定期的に診てもらい、プロケアも受け、歯を維持していきましょう。すでに歯が少なくなっている人は、義歯などの治療を受け、かめるようにしましょう



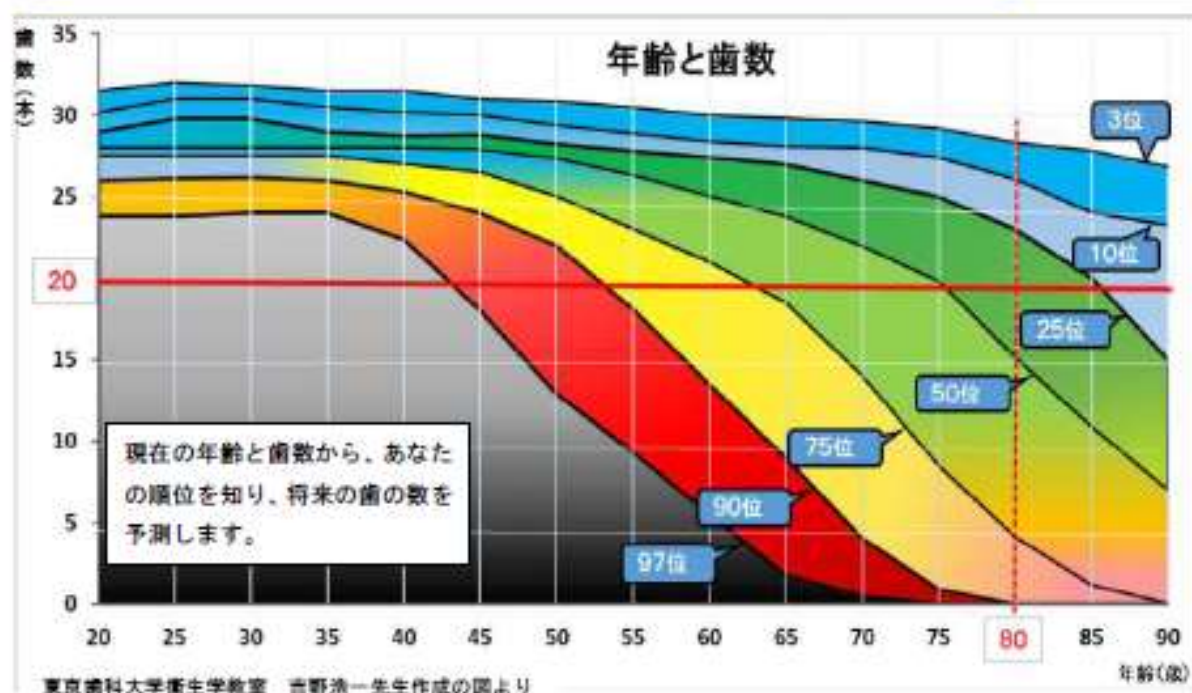
あなたの歯は、いま何本ですか？

本です

成人の歯数は、親知らずが4本とも生えていれば32本。親知らずが全く生えていなければ28本です。一般的に、20本以上の歯があれば、ほとんどの食品を自分の歯で、かんで食べることができるといわれています。いつまでもお口から食べるために歯を保つことが大切です。歯を失う原因の第一位は歯周病です。歯周病を予防し、お口の健康を維持することで、体の健康にも役立つことが知られています。



下のグラフで、横軸の年齢と、縦軸の歯の本数が交わる場所に印をつけましょう



あなたの年齢と歯数に一番近い線は何位の線ですか？50位の線より下の75位、90位、97位の線に近い方は要注意です。歯が一般の方より少ないので、歯科医院で義歯などの治療を受け、かめるようにしましょう。

現在の歯数が20本以上ある方は、歯数を維持して8020（80歳で20本の歯を保つ）を達成しましょう。

歯数と全身の健康との関係

*認知症の確率 **1.9 倍**

65歳以上の高齢者で、自分の歯がほとんどなくて入れ歯も使っていない人は、歯が20本以上ある人に比べて認知症になる確率が1.9倍になるという調査結果が厚生労働省から示されました。

*転倒リスクは **2.5 倍**

65歳以上の健康な方で、過去1年間転倒経験がない方のうち、3年後の転倒経験を調べると、歯が19本以下の人は転倒リスクが高いことがわかりました。

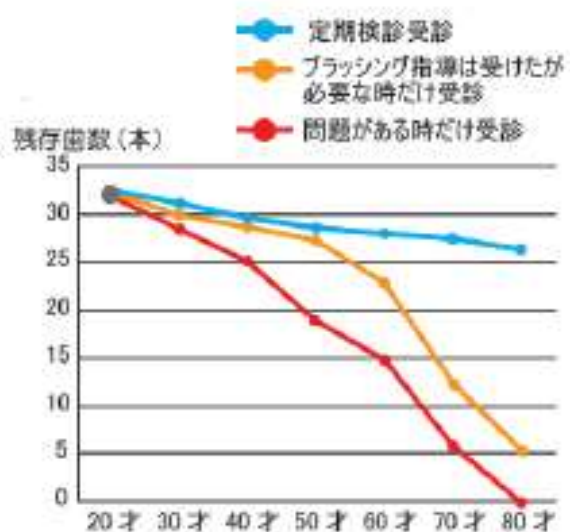
現在の歯をずっと保つために あなたにお勧めします

定期的なプロケア

お口の状態に応じて、年に数回、歯科医院で歯石除去や口腔清掃を受けることで、歯を維持することができます。

特に歯肉の健康が気になる中高年では、症状がなくても3～6か月に1度は、歯科医院で検診やメンテナンスを受けましょう。

下のグラフでは定期検診を受けていると、年齢を重ねても歯が保たれることを示しています。



長崎大学・新庄教授のデータより

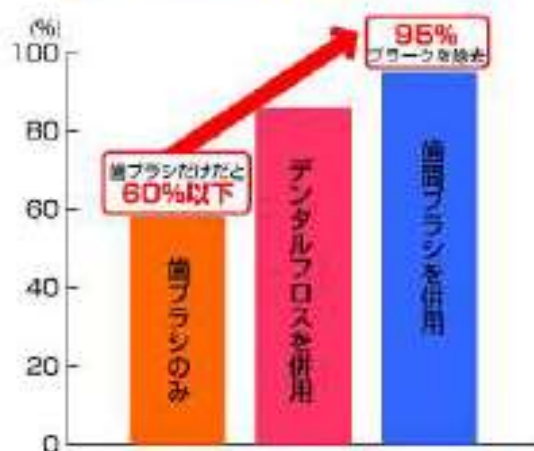
毎日のセルフケア

毎日の歯磨きに、デンタルフロスや歯間ブラシなどの歯間清掃用具を加えれば、清掃効果（プラーク除去率）がアップします。

あなたに合った歯間ブラシのサイズや使い方について、歯科医院で相談をして正しく使用しましょう。

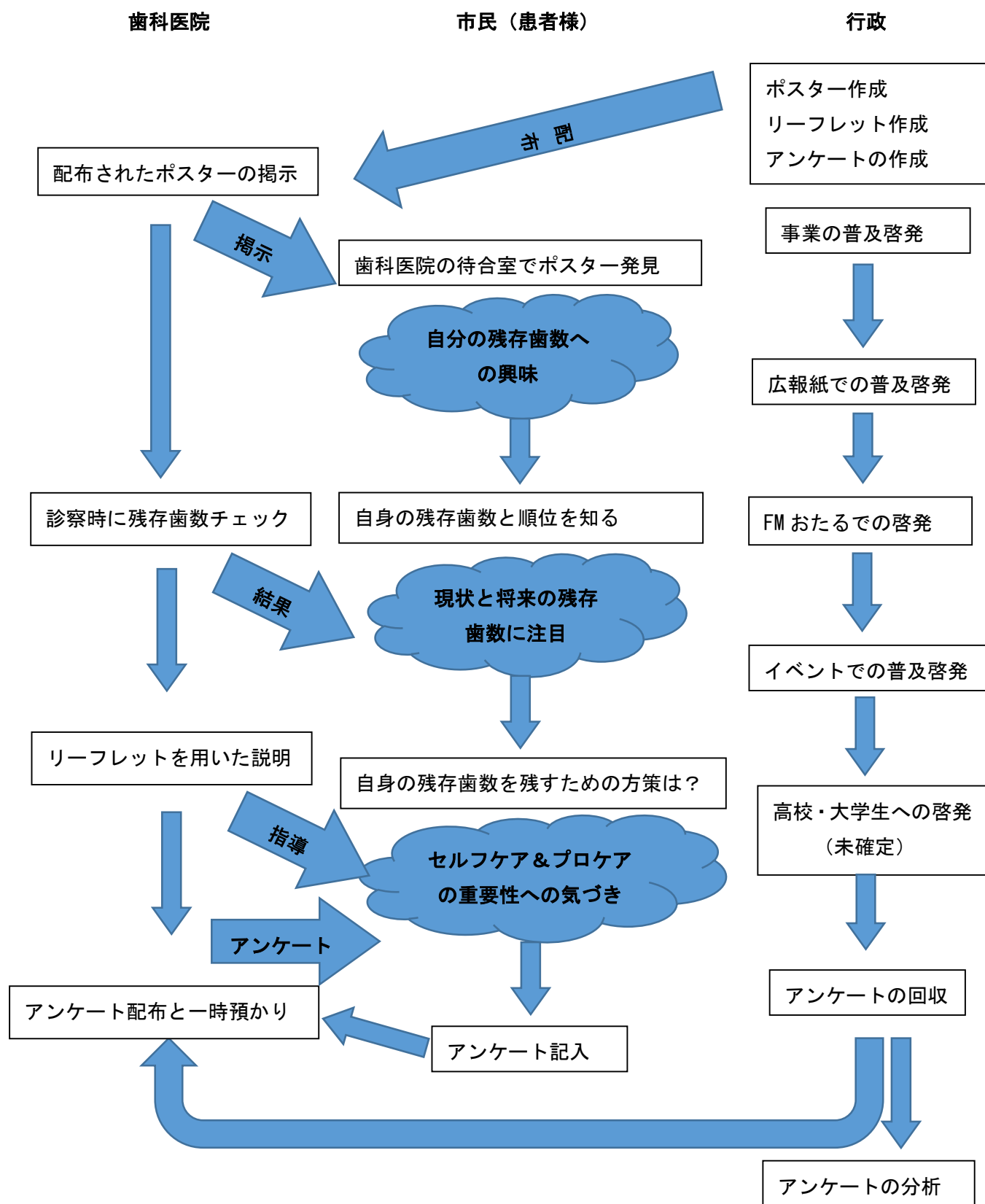


歯間清掃器具のプラーク除去効果



東京医科歯科大学・山本昇先生のデータより

歯周病対策「あなたの歯は何本？」事業
事業の流れ図（フローチャート）



歯科医院で、歯を保つ大切さを御説明していますが、説明を受けた方へアンケートの記入をお願いします。ぜひ御協力ください。

あなたの性別と年齢区分の当てはまるところへ○をつけてください。

性 別 (男 女)

年齢区分 (20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代～)

以下の質問の()には歯の本数を、当てはまる記号には○をつけてください。

問1 あなたの歯は何本でしたか？ また、自分で思っていた本数と比較してどうでしたか？

〔 本 〕

ア. 多い
イ. 少ない
ウ. 同じ

問2 今回の説明を聞いて、又はリーフレットを見て、「歯を保てよう」という気持ちは変化しましたか？

ア. 歯を保つ気持ちがより大きくなった
イ. 気持ちの変化はないが、以前から歯を保てようと思っていた
ウ. 気持ちの変化はないし、歯についてもあまり関心がない
エ. 歯を保つ気持ちが低下した

問3 歯を保つためにプロケア*が必要なることを知っていましたか？

ア. 以前から知っていた
イ. 今初めて聞いた
ウ. その他()

問4 あなたは定期的に健診やプロケア*を受けていますか？

ア. 定期的に受けている
イ. 定期的ではないが受けている
ウ. 受けていないが、今後受けようと思う
エ. 今まで受けていないし、今後も受けないと思う
オ. その他()

御協力ありがとうございました

***プロケア(プロフェッショナルケア)とは**
歯科医師や歯科衛生士によるケアで、専門的な口腔清掃や、歯石除去などのことを指します。

あなたの歯は何本？事業アンケート

「あなたの歯は何本ですか？」の事業についてお忙しいところ御協力を賜りありがとうございました。この事業は、かかりつけ歯科医院に定期的な通院をする方の増加を図ることで、歯を維持することを目的として実施しています。今後も地域の歯科関係者の皆様とともに市民の歯科口腔保健の向上に努めてまいりますので、この度の事業についての御意見や御感想などをお聞かせください。

お手数ですが、以下の質問の回答を記入しFAXでお送りください。

事業を担当された方の御意見をお聞きます。該当するところにマルをつけてください。

質問1 このアンケート回答者の職種は？

- a. 歯科医師 b. 歯科衛生士 c. 歯科助手ほか

質問2 事業のポスターを掲示しましたか？

- a. 掲示した・・・掲示場所は？ 待合室 診療室 その他（ ）
b. 掲示しなかった

よろしければ掲示しなかった理由を教えてください。

質問3 事業のリーフレットを説明することについて

まったく負担では無いを「0点」、負担感の最高点を「10点」とすると、リーフレットを説明する際の負担感の程度は、何点ですか？

負担感（ ）点

質問4 事業リーフレットの内容について

最低点を「0点」、最高点を「10点」とすると、リーフレット内容は何点ですか？

内容は（ ）点

リーフレットに盛込むと良いと思う内容、又は改善点についてお書きください。

質問5 今後、歯科医院にリーフレット配布などの御協力をお願いすることについて、下記から選んでください。

- a. リーフレット配布や説明など、協力できると思う
b. リーフレット配布くらいなら協力できると思う
c. リーフレットを待合室に置くくらいの協力はできると思う
d. 今後協力はできないと思う
e. その他（ ）

質問6 今回の事業を通しての感想、改善点など、お書きください。

小樽市保健所（22-1469）へFAXしてください。締切りは4月18日（よい歯の日）です

**<小樽市民の歯科口腔保健を考える会>
「あなたの歯は何本？」事業作業メンバー**

加藤友一	小樽市歯科医師会 副会長
渋谷繁男	小樽市歯科医師会 公衆衛生理事
角田裕子	北海道歯科衛生士会小樽支部 副会長
中村悦子	小樽市保健所主幹
柴田健治	小樽市保健所健康増進課 課長
藤川泰恵	小樽市保健所健康増進課 主査

〒047-0033
小樽市富岡1-5-12
小樽市保健所 健康増進課
TEL 0134-22-3110
FAX 0134-22-1469
E-mail kenko@city.otaru.lg.jp